

## 商店街名：柴田商店街振興組合【名古屋市、平成 28 年度指定】

### 1 活性化モデル商店街の概要

#### ●キャッチフレーズ

様々な層のお客に対応できる地域に根付いた「賑わいあるコミュニティ商店街」

#### ◎商店街の将来ビジョン

##### 【現状】

商店街が立地する学区においては、定住人口の減少と少子高齢化が進行している。

##### 【課題】

商店街が行ったアンケートでは、買い物場としてだけでなく、人が集う地域交流の場としても地域住民から期待されている。地域全体で少子高齢化が進んでおり、子育て支援や高齢者の健康増進などの地域に貢献する取組みを進める必要がある。

##### 【対策】

商店街エリア内に地域交流拠点センターを整備し、地域コミュニティ活動の拠点とするほか、年間を通して高齢者、子育て世代をターゲットにしたイベント等を実施することで、商店街がリーダーシップを発揮して地域住民と商店街との関係性をさらに深めていく。

#### ◎具体的に取組む事業内容

○地域交流拠点センター整備を中心とした地域に密着した商店街づくり（28年度）

地域交流拠点センターの整備、地域交流イベント（七夕まつり等）の実施

○地域交流拠点センターを中心とした地域に密着した商店街づくり（29年度～32年度）

地域交流拠点センターの運営、地域交流イベント（七夕まつり等）の実施

## 2 活性化モデル商店街の実績・成果等

### ◎商店街の将来ビジョンの実績

商店街と地域の様々な個人や団体が構成する「チーム279（つなぐ）」が「279ステーション」の運営を担うことで、商店街活動を担う人材を外部からも取り込むことができた。また、高齢者及び子育て世代を中心に、商店街の認知度を高め、商店街が地域になくてはならない存在であることをアピールすることができた。

### ◎事業実績

○地域交流拠点センター整備を中心とした地域に密着した商店街づくり（H28年度）

空き店舗を「279ステーション」として整備し、各種企画（小学生寺子屋、英語教室、放課後自習室、紙芝居屋、第45回柴田七夕まつり、279ハロウィンパーティー、イルミネーション装飾&歳末セール、書初め会等）を実施した。

○地域交流拠点センターを中心とした地域に密着した商店街づくり（H29年度～R2年度）

「279ステーション」において、各種企画（放課後自習室、絵本の読み聞かせ会、子ども向けプログラミング講座、高齢者サロン、279スプリングパーティー、279サマーパーティー、279ハロウィンパーティー、279クリスマスパーティー、イルミネーション装飾&歳末セール、寄席等）を実施した。

### ◎事業の効果

平成28年度から令和2年度にかけての歩行者通行量調査では、毎年3～5%程度の増加傾向がみられ、279ステーションを中心とした商店街の活動が来街者数の増加に繋がったと考えられる。

### ◎新型コロナウイルス感染症を踏まえて取組んだこと

商店街の各店舗に感染予防啓発ポスターを貼り、全組合員に非接触アルコールディスペンサーやマスク及びアルコールティッシュを配布するなどして、感染対策に取り組んだ。商店街全体で感染対策を行っていることを来街者や地域の方々にアピールすることができた。

### ◎その他の成果

名古屋市主催の「商店街オープン」（空き店舗を対象に事業プランを検討・作成し、事業化を目指すもの）に参加し、事業化に結び付けた。商店街及びチーム279が事業実施店舗と地域のパイプ役として連携を深め、空き店舗を活用したまちづくりの推進に貢献をした。



(279ステーション)